2024. 第6号 五つ星ニュース 2024. 第6号

3月下旬~6月中旬の各地区の活動

地区 活動内容 3月 総会・懇親会 4日 香島会					
	地区	活動内容			
田 5月 安貞云	世田米	4月 委員会 5月 なつかし写真部会			
上 有	上有住	5月 春の八日町市日 市日でのバザー売上募金			
下有3月 役員会有住4月 総会・懇親会5月 企業(愛知県)の新人研修での蕎麦打ち体験・蕎麦の乾麺加工劇団「横綱チュチュ」の公演6月 沿岸南部クリーンセンター見学会	下有住	4月 総会・懇親会 5月 企業(愛知県)の新人研修での 蕎麦打ち体験・蕎麦の乾麺加工 劇団「横綱チュチュ」の公演			

地区	<u> </u>	活動内容			
大股		4月 5月 6月	総会 買い物ツアー 劇団巴座の公演 買い物ツアー 地区公民館の花壇の花植え 買い物ツアー 3 B体験教室		
五葉		3月 4月 6月	春を呼ぶ文化祭 役員会・総会 梅の苗木保護ネット設置 メープルサイダーの加工 さつまいもの苗植え 梅の植樹地の環境整備作業		

7

※ 若手職員研修 小さな拠点づくりへ参加

住田町では、地域活動や会合などへの参加を通じて、若手職員に地域のことを知ってもらい、地域とのつながりを作る目的に、採用後3~4年の職員を対象とした研修が令和6年度よりスタートしました。2年間の研修先として小さな拠点づくりの活動が選ばれ、地域協働組織に参加する予定です。

(うのうら はると) 氏名:鵜浦 陽斗 所属課:保健福祉課 出身地:陸前高田市 担当地区:下有住



一言コメント:

本研修を通して、担当地区のみならず住田町のことをより理解するとともに地域の方々とのつながりを築けたらと思います。

(ささき しょうどう) 氏名:佐々木 証道 所属課:企画財政課 出身地:陸前高田市 担当地区:上有住



一言コメント:

東日本大震災の際に住田町の皆様にご支援いただいた縁があり、住田町で働こうと考え、役場職員として業務に従事させていただいております。各地域の活動にお邪魔させていただき、より住田町を知る機会を得ることができたと考えております。

(とおやま けいた) 名前:遠山 恵太 ぶ屋間: 今面はな部

所属課:企画財政課 出身地:奥州市 担当地区:上有住

一言コメント:

この研修を通じて、上有住地区の魅力を知っていくとともに、地域づくりについて考えるきっかけにしていきたいです。

(くまがい こうた) 氏名:熊谷 宏太

所属課:保健福祉課 出身地:陸前高田市 担当地区:世田米



一言コメント:

住田町役場に入庁にて3年目になりました。より住田町のことを理解するために頑張りますので、 よろしくお願いいたします。

住田町「小さな拠点づくり」の 活動を伝える 五つ星ニュース 第6号 2024年6月 発行

【発行】

一般社団法人邑サポート 住田町世田米字本町 22-5 TEL 070-2021-6142

【編集協力】

住田町教育委員会 住田町世田米字川向 88-1 TEL 0192-46-3863



各地区で新年度の活動がスタートしました。

令和6年度のスタートとともに、住田町の各5地区では、小さな拠点づくりの地域協働組織の 総会が開催され、今年も活動が始まりました。

住田町の小さな拠点づくりは今年度で8年目を迎えました。各地区では、当初からの継続事業、コロナ禍を経て新たにチャレンジを始めた事業、地域のニーズや課題に応える事業など、地域の情勢の変化に応じた取組みが進められています。また、活動に参加した経験のある地区の方々も徐々

に増え、地域づくりの活動が定着しつつあります。 住田町の小さな拠点づくりの活動は、地域課題 に取り組みながら、地区内外の人々のつながりを 生みだし、地域の活気を持続させるものとなって います。



世田米いきいきづくりの総会を兼ねた活動報告会



青空のもと開催された下有住いきいき活動協議会

3.月下旬~6月中旬の各地区の活動

五つ星ニュース

令和6年度が始まり、総会や役員会の場で共有された新たな1年の計画がスタートしました。恒例行事の大切さ を再認識したり、新しいチャレンジを始めたりと、8年目を迎える各地区の力がみなぎっています。

世田米いきいきづくり

≪地区の方々との親睦を深める総会の開催≫

3月22日に開催した総会では、令和5 年度の活動報告と新年度の役員・委員の 体制について協議しました。

これまでの活動の成果を共有したあと、 新年度も委員の方々が熱意を持って取り 組みやすい体制を検討しました。

総会後の懇親会では初めていきいきづ くりの活動に参加する方もあり、世田米 らしいふれあいと賑わい創出に取り組む 仲間づくりの機会にもなりました。

≪委員体制の改革≫

令和6年度は、数多く手掛けてきたプロ ジェクトを整理し、新たに3つの部会を立 ち上げました。今後は委員の方々の主体的 な取り組みに進化することが期待されま

- ①三沢写真館の写真活用「なつかし写真部 会」
- ②公園や遊歩道などの美観整備「フラワー
- ③伝統行事で世代交流「伝統行事部会」



今年度の労を労い、新年度の決意を 共有した懇親会



フラワー部会の企画で、6/16、公園そ ばの散歩道に花壇が植えられました

スマイル大股

≪自らできる地域貢献のかたち・花壇整備≫

6月6日に開催された高齢者教室では、 地区公民館の花植え活動が行われました。 この活動は、歳を重ねても地域に貢献がで きる場として好評です。予定より早く集合 し作業がスタート、みるみるうちに公民館 前は花がいっぱいになりました。

「花の名前はよくわからない」と言いなが らも楽しく作業したり、「ここの中学校の卒 業生なの!」と思い出を語り合ったり、皆 さんのいきいきとした姿が印象的でした。

≪毎月2回開催、買い物ツアー≫

自動車を運転できない高齢者を対象とし た「買い物ツアー」は、毎月第2・4水曜 日に開催されます。第2水曜は町内へ、第 4水曜は町外へ、商業施設を周ります。買 い物をする楽しさを味わえるとして、参加 者には好評です。

運営はスマイル大股のスタッフやボラン ティアが担っています。住民同士、支え合 いながら共に暮らし続けていくコミュニ ティの温かみが感じられる事業です。



声を掛け合いながら、連携して手早く 作業が進みました。



スタッフは、その日に行きたい店を聞いて、 車を走らせます。

下有住いきいき活動協議会

≪春爛漫の青空総会と懇親会≫

令和6年度の総会が4月21日に 開催されました。昨年度は、地区 民の一体感が感じられたフリーマ ルシェ、蕎麦栽培に関わる組合の 発足など、下有住が長年培ってき た地域づくりの底力を感じさせる 報告が続きました。

総会は地区の方々が大切にして きた旧小学校跡地で開催し、総会 終了後はバーベキューの懇親会と なり、日ごろの思いを語り合う機 会となりました。



青空のもとで開催された総会 は、小学校跡地で開催されま

≪岩手沿岸南部クリーンセンターの見学会≫

今年度から「環境に優しい暮ら し」を目指す活動がスタート。6 月19日には岩手県沿岸南部クリー ンセンターの見学会が開催されま した。

住田町を含む沿岸南部3市2町 が共同運営する同施設では、ゴミ を高温で溶融して無害化し、排熱 も発電などに利用しています。参 加者からは、「ゴミが、最終的には クリーンになる、ということを知っ て驚いた」との声も。ゴミ削減へ の意欲も高まったようでした。



沿岸南部から集められるゴミ を眺めながら環境を学ぶ参加

夢が輝く上有住

≪春の八日町市日≫

春の八日町市日が5年ぶりに開催 され、山菜やパンなど 16 のお店で 賑わいました。地元の方々のほか大 股地区からの買い物ツアーの方々も 訪れ、150 名ほどが来場し売れ行き も好評だったとのこと。

昨年の「秋の八日町市日」が復活 したこともあり、今回の開催では準 備や運営がとてもスムーズだったそ うです。

設置した募金箱と合わせバザーの 売上げは、社協を通じて能登半島地 震の義援金に充てられました。



5年ぶりに開催された春の 八日町市日。

≪村上繁喜さんの退任≫

新年度のスタートは八日町市日 の準備・運営に注力したため、総 会は6月8日になっての開催とな りました。この総会では、会長を 長年務めた村上繁喜さんが退任 し、新たに千葉忠行さんが就任さ れました。

退任の挨拶の中で、村上さんは 上有住地区公民館が新しくなった ことに触れ、「新築と同時にコロ ナ禍に突入してしまった。これか らはこの場所がより活用されて賑 わってほしい」と期待を込めまし た。



総会では会長を退任された 村上繁喜さんに花束が贈ら れました。

五葉地域づくり委員会

≪春を呼ぶ文化祭≫

3月に開催される春を呼ぶ文化祭 は、冬から徐々に暖かくなる春分の 頃に毎年開催されています。手芸や 短歌などの創作活動の発表の場や文 化に触れる場となっています。

今年は、能登半島地震への支援を 目的にバザーが開催され、地区の 方々の多くの協力が集まりました。

前日の準備も含め2日間、文化祭 に関わる地区の方々の「参加して楽 しむ」という姿がありました。



創作活動の発表の舞台として定 着した文化祭。

≪五葉の初夏の風物詩 さつまいも・梅の木≫

地区のみんなで育てているサツ マイモ畑は地区公民館の近くにあ り、同じく特産品を目指す梅の植 樹地も隣接し、一帯は「みんなの の畑」へと進化しています。

今年も、サツマイモの苗植え作 業と梅の植樹地の草刈り作業が同 日に開催され、20 名以上の地区民 が参加しました。

今年の秋に実るサツマイモと、 数年後に実を結ぶ梅。両方の畑か ら、地域の方々が手塩にかけた成 果が実ることを願っています。



長年のなれた手さばきでサツ

